



# 上向台小だより

7月号

西東京市立上向台小学校

令和5年7月3日

<http://www.nishitokyo.ed.jp/e-kamimukoudai>



## 「リアル」と「デジタル」の最適なバランスが生み出す 新たな学校教育の実現に向けて

教務主任

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動への御理解・御協力をいただき、誠にありがとうございます。

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に移行されたことに伴い、今まで控えていた公共交通機関を使つての遠足や演劇鑑賞に行くことができるようになりました。2年生から5年生の遠足では、団体を電車を利用し、公共のマナーを学ぶとともに、新しい学年、クラスの友達との楽しい思い出を作ることができました。今後も子どもたちが楽しみにしている遠足や社会科見学、移動教室などの行事が予定されています。日常の学校生活とは少し異なる、これらの校外学習を通して体験したことを授業にも生かしていきたいと思ひます。

さて、本校では、校外学習以外でも様々な体験学習を行っています。例えば、

- ・2年生における地域協力者による地域の畑を活用した野菜の栽培活動
- ・3年生における小金井公園をさらに魅力的な公園にするために自分たちができることを考え、提案する活動（小金井公園サポーター）
- ・5年生における地域協力者の指導による稲の栽培などです。

このような体験活動は、他者、社会、自然・環境との直接的なかわりという点で極めて重要です。

一方、これからの時代に求められる資質・能力を向上させるために、デジタルでこそできる学びもあり、「リアル」と「デジタル」の長所を活用し、子どもたちには多様な機会を設け、また、教員には働き方改革を推進していきたいと考えております。

そのための取組について、いくつか御紹介します。

### ① 教員が取り組む

#### タブレット端末を活用するための校内研修

本校では、児童による一人1台端末の活用を目指して、教員による校内研修を行っています。その方法として、研究推進部が中心となり、授業で子どもたちが活用した使い方を校内で共有することで、教員全体のICT活用指導力の向上を図っています。

それぞれの教員はこの校内研修で学んだことを基に、タブレット端末を活用した授業を展開し、児童の学びを深めています。つい先日の校内研修では、PadletやJamboard、共有ドライブの活用の仕方を取り上げ、それぞれの教員が学年の実態に応じて児童の端末の使い方を工夫、検討しながら授業への活用を目指しています。

### ② タブレット端末の特別活動等での利用

～日常的に便利に使いこなす児童が増加～

児童がタブレット端末の便利な使い方を発見し、その方法をクラス内や他学年と共有する場面があります。

ある委員会では、発表に使うスライドの作成を分担して同時に行いたいという希望があり、それぞれが担当のページを作成し、完成したスライドのページをリーダーの児童が整理して校内に向けて発表するという場面がありました。

また、当番活動のメンバー表や順番表を印刷して配布するのではなく、これも代表の児童が作成して共有フォルダ内に保存し、関係する児童が各自参照して活動に取り組むという場面もありました。

上小の児童は、あっという間にタブレット端末を使いこなす、日常生活の中に取り入れています。

### ③ ICT活用を通じた校務の効率化

5月20日の授業公開及び引き取り訓練への御協力、誠にありがとうございました。

その後の保護者アンケートでは、「Google フォーム」を活用いたしました。アンケートには、多数の保護者の皆様より御回答をいただきました。教員一同、今後の学習指導や生活指導、授業公開の運営等に生かして参ります。

上で挙げた取組は一例ですが、このような取組等を試行錯誤することで、「リアル」と「デジタル」の最適なバランスが生み出す新たな学校教育の実現に向け、今までの教育活動を再考してまいります。また、子どもたちの更なる学びの充実と、教員の働き方改革を推進できるよう、工夫・改善をしてまいります。